



かん きょう たん けん たい さん びょう
環境探検隊参上

—うみをとことん調査—

平塚の海は汚れているのか、
 博物館学芸員の浜口さんと一緒に浜
 辺を歩いたり、船に乗ったりして取
 材してきました。

豆記者

阿比留孝造

高岡奈央

渡辺央将

浜辺探検の巻



平塚海岸で、浜辺に落ちていた物
 を拾って観察する「ビーチコーミン
 グ」をしました。

最初に藻を拾いました。この藻は
 「流れ藻」といって、海面に浮いた
 めの袋が付いています。魚がこの藻
 に卵を産むこともあります。今度は
 ヒトデも見つけました。ヒトデが見
 つかるのは、海が汚れている証拠だ
 そうです。

それから、たばこのフィルターや
 サンダル、プラスチックのごみなど、
 浜辺にあつてはいけな物もいつぱ
 いありました。それに、花火も捨て
 てありました。みんなが夜に海で花
 火をすると、夏に卵を産むウミガメ
 が驚いて、卵を産みに来なくなるそ
 うです。だからウミガメは、最近めつ
 たに平塚などの湘南海岸には、卵を
 産みに来ることがなくなつたそうで
 す。海岸で花火をするのは、絶対に



たばこのフィルター、だれが捨てたの？



こんなに拾っちゃった

いけないと思いましたが。ほかに、空き缶やペットボトルも捨ててありました。回収したペットボトルはリサイクルしますが、砂がついているとうまくできないそうです。

ごみには、外国から海をわたって日本の海岸に来るごみもあります。日本で捨てたごみも同じように外国へ流れて行きます。

地球に住んでいるのは、日本人だけじゃないんだよね。

海上探検の巻



平塚新港から船に乗って、江の島までを往復しました。

はじめは船酔いしないと思っただけで、だんだん気持ちが悪くなってきました。船のスピードが出てくると、口の中にしびきが入ってきて、とてもしょっぱかったです。

途中で、平塚沖にある波浪観測塔が見えました。波浪観測塔にはウミネコが口を開けて休んでいました。



気持ちが悪いのかと思ったら、体の中から熱を逃がすために口を開けているらしいです。あと小さいサメもいました。びっくり！野生のサメを見るのは初めてだったので興奮しま

した。

潮目という海流と海流がぶつかる場所で、海に落ちないように気をつけながら、網を使ってごみ拾いをしました。ここでも「流れ藻」は、たくさんありました。この海藻を網ですくってみたら、とてもかわいい魚の卵がついていたので、海に戻しました。この海藻はホンダワラというそうです。

そしてなんと、海にビニールやペットボトル、それにビーチボー



やっとすくえたよ

ルも浮かんでいました。信じられません。浜辺だけではなく、海にもあってはいけない物がたくさんあったのです。海にビニール袋などを捨てる、海の生き物たちがえさと間違えて食べてしまいます。海はごみ箱じゃないのになあ。

取材をして、平塚のまちを海から初めて見てとても感激しました。でも、汚れている海を見てとても悲しくなりました。環境を良くするためには、一人一人が気をつけないとダメなんだということがよく分かりました。

だから、わたしたちも平塚だけではなく、日本の海が、そして世界の海が、きれいになるように一生懸命頑張っていきたいと思えます。